

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 7日は、低気圧が日本の東に進む。
- 7日から9日にかけて、高気圧が東シナ海から日本付近を通過して日本の東に移動する。
- 8日から11日にかけて、前線を伴った低気圧が華中から日本海を通過してオホーツク海に進む。

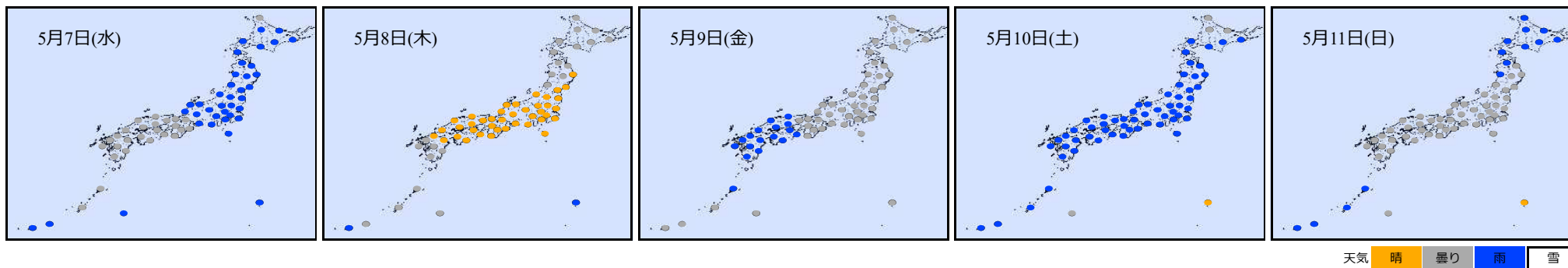
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

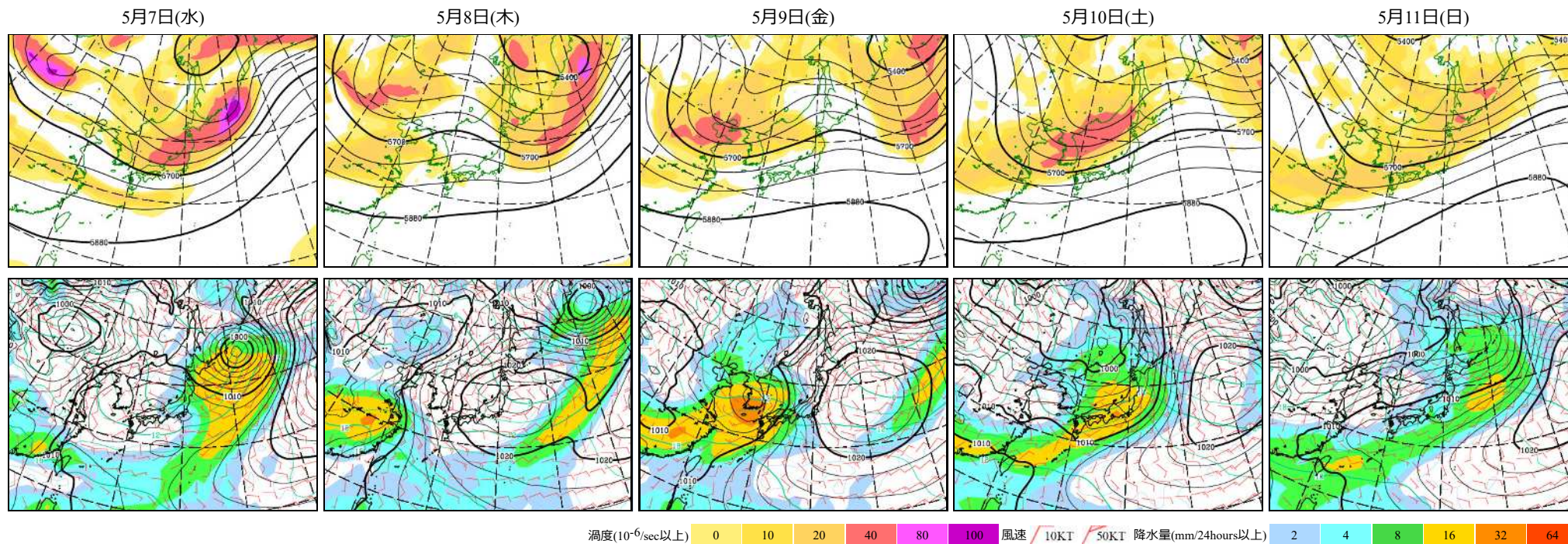
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

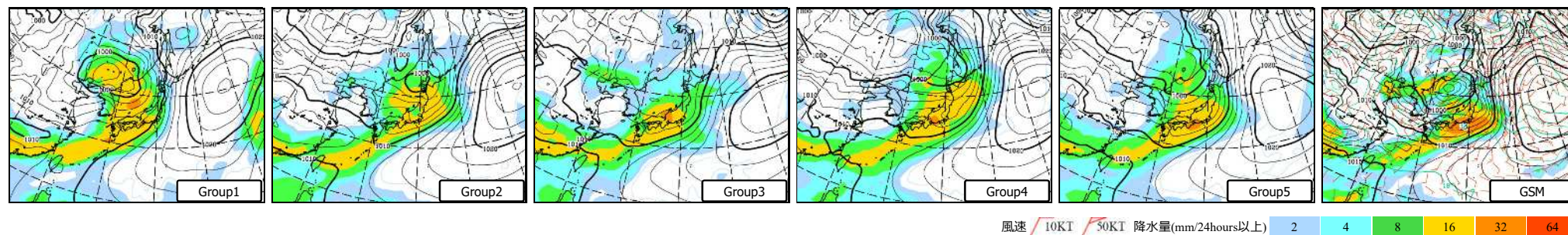


- 北日本と東日本、西日本は、雲が広がりやすく雨の降る所があるが、8日は晴れる所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月10日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、7日の日本の東のトラフが深くなった。8日は日本海のリッジが強くなった。地上では、7日の日本の東の低気圧と日本海西部の高気圧が明瞭になった。高気圧は8日にかけて移動が早くなり強くなった。9日の朝鮮半島付近の低気圧が明瞭になった。11日は、オホーツク海に進む低気圧の位置や、日本の南の前線についてモデル間の差は比較的小さい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報はおおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。